

【社会・小3・店ではたらく人】①

育成を目指す資質・能力

（知識及び技能）消費者の願い、販売のしかた、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。

（思考力・判断力・表現力等）消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。

（学びに向かう力、人間性等）地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

ICT活用のポイント

個に応じた資料の選択、読み取り、分析と、他者と考えを共有したり考えを深めたりする授業。

【つかむ】本時のめあてを立てる。

スーパーマーケットについて気付いたことを話し合い、学習問題を設定しよう。

【追究する】スーパーマーケットの店内・店外の画像から、スーパーマーケットの特色や客を呼ぶために工夫していることを見つけ、考える。

【まとめる】話し合いをもとに本単元の学習問題を設定する。

事例の概要

- スーパーマーケットの特色や売り場の工夫を、資料をもとに考える。
- グループで話し合ったことを全体で共有し、学習問題を設定する。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 自力解決の場面において、スーパーマーケットの複数の画像から、スーパーマーケットの特色や、消費者を呼ぶために工夫している箇所を探す。
- 集団解決の場面において、スーパーマーケットの特色や消費者を呼ぶ工夫について情報を集め、話し合う。

【事例におけるICT活用の場面②】

- ワークシートに記入した予想や疑問をICT端末で撮影し、画像を学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有する。

【社会・小3・店ではたらく人】②

【事例におけるICT活用の場面①】

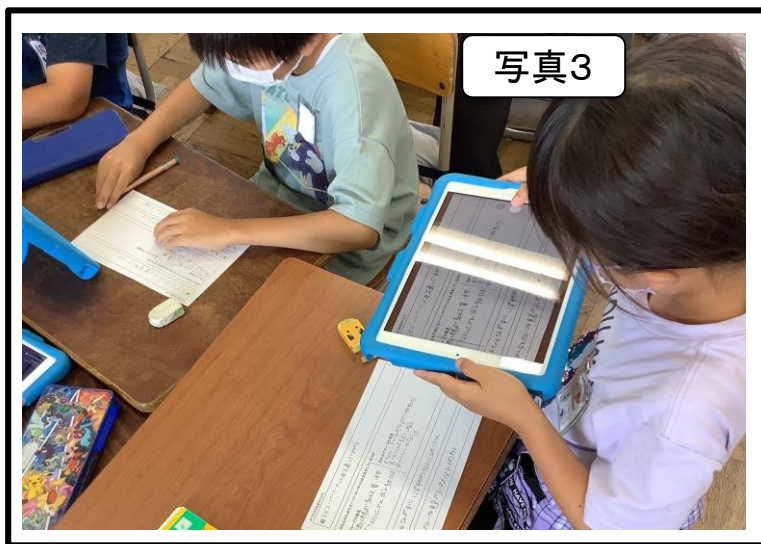


- ・授業者が児童に気付いてほしいポイントが写った画像資料を多く用意できる。
- ・校区内にある身近なスーパーマーケットの画像を使うことで、児童の意欲が高まる。
- ・児童はスーパーマーケットの画像で気になる箇所を拡大して確認できる。
- ・画像に印をつけたり消したりできるので、児童同士が説明し合う際、伝えやすくなる。

【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト（カードの提出・保存）

【事例におけるICT活用の場面②】



- ・ノートに書いたまとめをカメラ機能を使用して撮影し、学習支援ソフトの提出箱に送信することで、効率よく共有ができる。
- ・まとめを書くことが進まない児童も、先に提出された他者のまとめを参考にしながら、自力で書くことができる。
- ・全員のまとめを素早く共有できるため、自分のまとめと他者のまとめをじっくりと比較・検討でき、まとめの再構築につなげることができる。

【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト（カードの提出・共有・保存）
- ・カメラ機能